

木と暮らすデザイン KYOTO

令和7年度

第1回パートナーミーティング

6月6日(金)



京都市
CITY OF KYOTO



申込方法



木と暮らすデザイン
KYOTO



申込メールアドレス

6月3日(火)までに、下記内容をご記載の上、メールにて送付お願いいたします。

center@kyotokitayamamaruta.com

(担当：松本・住山)

【回答項目】

- ①参加者全員のご氏名
- ②所属名
- ③懇親会への出欠
- ④今回(6/6)の参加部会(木育 or プロダクト)
※どちらか1つをお選びください。
- ⑤ご意見・ご要望(あれば)

会場：京都アスニー 第3研究室

〒604-8401

京都府京都市中京区聚楽廻松下町9-2

※お車で越しの方は京都アスニーまたは
近隣のコインパーキングをご利用ください。

令和7年度

木育部会の活動内容

- ・パートナー活動の MAP 作成
- ・パートナーが連携した木育・森林学習
年間プログラム作成・試行実施

プロダクト部会の活動内容

- ・パートナーが連携した木製品(試作品等)の開発
- ・展示会等に出品・披露

今年度の主なスケジュール

2025/9 EKI spot KYOTO への出展

2025/10 KYOTO WOOD EXHIBITION 2025 への出展

2026/3 成果発表会

その他、年間を通したパートナー訪問ツアーや勉強会の実施を検討しております。

6月6日(金)

受付開始：14：00～

開始：14：30

終了：16：45

懇親会：17：30～

1. 木と暮らすデザイン KYOTO の事業
目的・活動計画の説明
2. コーディネーター・スタッフの紹介
※詳細は裏面をご参照ください。
3. 木育部会・プロダクト部会
オリエンテーション
・懇親会(参加費 5000 円程度)

「木と暮らすデザイン KYOTO」コーディネーター・スタッフ

統括
株式会社千本銘木商会
専務取締役 中川 典子

事務局
一般社団法人京都北山杉の里
総合センター
事務局長 松本 吉弥・住山 洋

木育部会リーダー
株式会社 Hibana
代表取締役 松田 直子

プロダクト部会リーダー
株式会社 torinoko
代表取締役 小山 裕介

「木と暮らすデザイン KYOTO」コーディネーター・スタッフ

統括

株式会社千本銘木商会
専務取締役 中川典子

日本建築や和室、京の木の道具を通して、木の文化と暮らしの豊かさを伝え、森と街をつなぐことを目指している。銘木の販売・加工・施工に加え、京町家の再生やモダンな木空間の創造、オーダーメイド家具・建築施工に従事。活動は多岐にわたり、伝統意匠技術の伝承や現代建築への応用、無垢材のデザイン提案など、木のある暮らしを多角的に追求。文化財の修復への貢献や、京町家のリノベーションによる地域活性化など実績も多数。オーダーメイド家具では素材の特性を生かした製品を提供。銘木師として教育・啓発活動も積極的に行い、木の文化の普及に努めている。木材普及と木育活動にて、令和6年度京都市環境大賞奨励賞受賞。

プロダクト部会 リーダー

株式会社 torinoko
代表取締役 小山裕介

「見つめて、見つける、モノづくり」をテーマに、暮らしや素材、技術、歴史を見つめ、新たな気づきを生むモノづくりを目指す。無印良品で10年以上の商品開発経験を持ち、家具から雑貨まで幅広くデザイン・企画に携わる。2019年に会社設立後は、日用品のプロダクトデザイン、商品企画、ブランディング・販売をサポートする。実績として、点図ポチ袋の開発で視覚障がい者支援、東北の「福缶」で震災復興支援に貢献。「木と暮らすデザイン KYOTO」では、針葉樹や端材を活用した商品開発を行い、森林資源の有効活用を推進。地域資源を生かしたオリジナル商品の開発・販売も行い、地域産業との連携を深めている。

木育部会 リーダー

株式会社 Hibana
代表取締役 松田直子

火と木のある暮らしを提案し、地域資源が地域内で循環する持続可能な社会を目指す。森林環境教育の企画・研修を中心に、森林資源の利用促進と、それに関わる人々や団体の増加を目指す。活動は、「ひおこし事業(事業者支援)」「ひいく事業(環境学習)」「たび事業(地域資源ツアー)」の3本柱。「京都ベレット町家ヒノコ」では木質燃料の普及を推進し、「リンカンガッコウ KYOTO」等のプログラムでは、森林浴や里山体験を提供。「バイオマスツアー京都(たび)」では、五感を使って自然を感じる体験を提供。企業や自治体へのコンサルティングも行い、環境・森林・バイオマスエネルギー分野での事業立ち上げを支援。地域資源の価値を再発見し、森林と共生する社会づくりに貢献。

事務局

一般社団法人京都北山杉の里総合センター
事務局長 松本吉弥・住山洋

北山杉・北山丸太の生産地である北山林業地域の振興を目的に設立。北山丸太や京都の木材をふんだんに使用した館内では、多様な種類の北山丸太の展示や関連商品の販売を行うほか、休憩コーナーや研修室、茶会も可能な会議室を備えている。林業地域ならではの研修・体験プログラムも提供しており、枝打ち作業の実演見学、丸太の皮むき・磨き体験、木工体験などが可能。森林資源の循環利用を学ぶプログラムや、地域振興プロジェクトへの参画も積極的に行う。北山杉の魅力を発信するとともに、地域活性化に貢献する拠点として活動。